



いらっしやい!

県立短期大学の学生さん達の企画・運営により「甘味処・ひかり屋」を開きました。学生さん達は1週間程前からメニューや看板作りなどの準備を進めて当日を迎えました。当日も午前中から現場での準備を始め、利用者の皆さんも何が始まるのか興味を持ち、開店前に集まる姿も見受けられました。

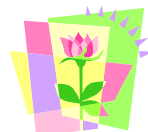


メニューは「ところてん」、「どら焼き」、「ぜんざい」など利用者さん達の好きな物ばかり。皆さん選ぶのに苦労している様子でした。おかわりをいただく利用者さんもいて、とにかく皆さん大喜びで食べていました。学生さん達も利用者の皆さんの喜んでいる様子を見て、楽しんで行っているようでした。

大成功だった「甘味処・ひかり屋」本当にありがとうございました。



華 華



6月27日、晃の園でコーラスグループの「コール華」の皆さんがコンサートを開いてくださいました。当日はうわさを聞きつけた利用者の皆さんがぞくぞくと集まり、あっという間に会場は満員御礼。さあいよいよ待ちにまったコンサートの開幕です。

「岸壁の母」や「ディズニー音楽」など利用者の皆さんにとって若かりし頃の懐かしい曲が、澄んだきれいな声で合唱されると、皆さんも自然に手拍子が出たり、感激して涙を流す方の姿も…。いろいろな振り付けもまじえて本当に楽しく、素敵なひとときを過ごせました。「コール華」の皆さん本当にありがとうございました。



晃の園の夏祭り

当日はお日様が出たり、雨が降ったりとはっきりしない天気でしたが、利用者の皆さんや職員の願いが届いたのか、夕方には天気も回復して準備に力が入りました。ゲームの景品も昨年より多く集まり、玄関の前では職員と利用者の皆さんがわき合い合いとヨーヨー作りを始めました。



食べ物のテントからはお好み焼きや焼きそば、フランクフルトなどの美味しいそうなおいが漂ってききました。夏の風物詩のかき氷も利用者の皆さんだけでなく、幅広い方々に愛され、あっという間に品切れとなりました。雨上がりの蒸し暑い中、冷えた飲み物やアイスクリームはみなさんの口の中へ流れるように入っていく、笑顔が絶えませんでした。



利用者の皆さんにも手伝って頂いたヨーヨー釣りや豪華な景品のあるストラックアウトも子供達の長蛇の列ができるほど大人気で、数多く用意された景品もあっという間に無くなってしまいました。



太鼓の音と共に浴衣姿の職員が輪になり盆踊りが始まりました。この日の為に空いた時間を使って毎日練習を重ねてきました。はじめは職員だけが踊っていたのですが、楽しそうな雰囲気誘われるように何人かの利用者の皆さんも輪に加わり、いつの間にか太鼓の周りには大きな輪が出来ていました。



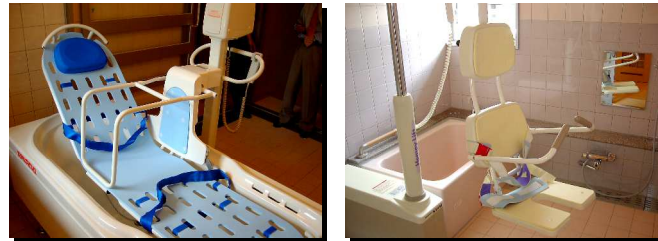
今年は残念ながら去年までのような打ち上げ花火こそありませんでしたが、たくさん手持ち花火を用意しました。

久しぶりの花火に利用者さんも懐かしがったり、驚いたり…。また小さな子供が花火を楽しむ光景を微笑ましく眺めている利用者さんもいらっしやいました。

参加者全員で楽しい時間を共有することができ、盛大な打ち上げ花火にも負けない盛り上がりが見られました。



2号棟浴室が大変身



2号棟の浴室の改修工事が行われ、7月から新しい浴室が使用できるようになりました。利用者の皆さんからも「新しいお風呂はきれいで気持ちいいね」との声が聞かれました。

特殊浴槽とリフト浴槽での入浴では、新しい装置だけでなくいっその声掛けを心がけ、利用者さんに不安な気持ちを持たせることなく、最高の「いやしの空間」になるよう、努力していきたいと思ひます。

この工事は(財)車両競技公益資金記念財団の助成金により実施いたしました。ありがとうございました。



防災訓練を行いました



防災活動の一環として、毎年恒例となっている消防訓練を行いました。おもに新人職員を対象として、実際の消火器を使い火を消すまでを体験してもらいました。



業者の方に消火器に関する注意事項の説明を受けた後、参加職員全員がそれぞれ消防作業を体験しました。実際の作業時間は一人10秒ほどでしたが、この実体験がいざという時にきっと役に立つと思ひます。

いよいよ増床工事がスタート

7月5日の土曜日(もちろん大安) 晃の園増床工事の安全祈願祭、起工式が執り行なわれました。梅雨の時期ではありましたが、当日はお天気にも恵まれ、多くの関係者の方々にお集まりいただくことができました。



静岡浅間神社の神主さんにより厳かに祈願の神事が進められました。でも神様を御呼びする神主さんの「うお〜」という声と、代表者による鍬入れの掛け声「エイ、エイ、エイ」は迫力満点。これで来年4月には、晴れやかにオープンを迎えられそうです。

晃の園だより 第122号

本人ペースで人生ゆっくり ゆらゆら生きるスローライフ

長かった梅雨もあけ本格的な暑さがやってきました。外出出来ない間、園内では色々な催しものが開かれ、それぞれ会話を楽しんだり、自分たちのペースでゆっくり活動したり、流れるような利用者との生活の中から、大切なものが見えてきたのではないかと思います。

私たち、人生のターニングポイントには、サポートが必要とされています。出生・受験・就職・結婚・自分ひとりで曲がりきれた人はいません。老いていくのも人生のターニングポイント、不安や孤独・淋しさそんなターニングポイントに私たちは一緒に関わっていきたく思ひます。外に出かけるだけで気持ちが引き締まり、多くの人と関わる事によって日頃見せない表情がみえる。そんな表情を見逃さずその喜びを最大限大切にしたい。その笑顔を私達は支えたい!

初夏の演奏会



6月のある日、晃の園の玄関前で演奏会が開かれました。演奏してくれたのは、地元の藁科中学校・吹奏楽部の皆さんです。心配されていたお天気も無事に、初夏の爽やかな風に包まれて演奏会が始まりました。



演奏曲の中には、中島みゆきの「地上の星」や、晃の園でも人気番組である「水戸黄門」のテーマ曲等が盛り込められ、利用者の皆さんから自然と手拍子が上がり、曲を口ずさむ姿も見受けられました。また、1曲づつ曲を紹介して下さった学生さん達の姿も可愛らしく、視線を送る利用者の皆さんからも、にこやかな表情が拝見できました。最後にはアンコールの声もあがり、和やかな雰囲気の中でとても楽しい時間を過ごす事ができました。

